

重点施策 「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進			評価実施者		所 属	社会教育課
			職・氏名		課長 竹谷和徳	

重点 施策 の 概 要	目 的	「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、成果を生かした生涯学習を推進するため、生涯学習情報をインターネット等を通じて発信するとともに、学びの仲間づくりや成果発表の機会の拡充など、子どもから高齢者まで生涯各期の生き生きとした生涯学習活動を推進します。				
	今年度の 主要事業	①青年交流プラザを中心とした青年活動の活性化 ②福寿大学の自治会を主体とした学生の積極的な事業参加				

事業の 目標と 実績	区 分		単位	H22	H23	H24	特記事項
	1	青年活動参加団体数	団体		10	13	
		目標		7	11	12	
	2	60歳以上の人口に対する福寿大学生の割合	%				60歳以上 H22 15,852人 学生149人 H23 16,138人 学生145人 H24 16,352人 学生144人
		目標		1.0%	0.9%	0.9%	
		実績					
	3	ツイッター、フェイスブックの顧客数	人		300	500	H23 ツイッター 150、フェイスブック 30
		目標			180	447	H24 ツイッター 252、フェイスブック 195
		実績					
	4	総合福祉センター・中央公民館の利用延人数	人	81,134	81,134	81,134	
	目標		80,753	73,759	72,594		
	実績						
5	福寿大学受講者のカリキュラム満足度	%			100.0	とてもよかった42%、まあまあよかった55%	
	目標				97.0	あまりよくない0%、期待はずれ3%	
	実績						
6							

事業の分析 効果の検証	①青年交流プラザ事業を通じて交流を持った青年たちが、互いの活動に協力する事例がみられるようになり、また、青年活動発表会「Takikawaミーティングブルー2013」を通じ、市民が青年たちの活動を広く知り、新たなつながりができた。
	②成人式はこれまで行政主導で行っていたものを、青年たちで構成する実行委員会で開催。青年団体からの選出委員のほか、新成人及び昨年度の新成人で構成した実行委員会によっての運営や進行、そして、新成人の母親からの手紙披露や交流会などの新たな企画が生まれ、柔軟な内容でまさに青年が主役となる成人式となった。
課題	③福寿大学は、大学祭や研修旅行など、自治会が主体的に事業の企画・準備に関わることや、事業内容を現代社会の課題解決につながる事項を多く盛り込んだことで満足度が高くなった。
	④ツイッターやフェイスブックなどのインターネットツールによって、青年交流プラザや福寿大学などさまざまな社会教育事業を広く周知することができ、市民の参加を促すことができた。
課題	①青年活動については、青年交流プラザの支援団体である「青年交流プラザ振興会」の会員数は37企業であり、今後、支援体制の強化を図るためにも、新社会人のための交流会などを実施し、会員増加に取り組む。
	②福寿大学については、現在の授業で満足している学生が多いが、新たなシルバー世代を獲得するためには授業システムの見直しが必要である。福寿大学を発展させるのか、福寿大学をそのまま存続し、新たにシルバー世代向けの学習活動の機会を提供するのか、市民の意向調査などを実施し、今後の高齢者学習についての施策をまとめた。

評価	A	評価の視点1 期待どおりの効果があったか
		青年交流プラザを中心とした情報提供や事業実施により、青年間の情報交換・交流が飛躍的に進み、期待どおりの成果があった。
評価	A	福寿大学は、学生の経験や知恵を生かす活動ができ、期待どおりの成果があった。
		評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか
評価	A	各年代において、「仲間づくり」の拡充を目指し、継続して事業を進める。

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する

B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある

C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。

D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	生涯各期の生涯学習に対し、市民ひとりひとりが持つ経験や知恵、ネットワークをさらに生かし、仲間づくりを支援する事業を今後も継続して取り組んでいく。
	☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 継続

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	福寿大学については、市民ニーズを把握してやってほしい。ハードについては生涯学習の場の確保を。
---------------	--